



宜総務第 301 号—2  
令和 7 年 12 月 4 日

宜野湾市議会議長 呉屋 等 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳



宜野湾市議会からの政策等の提言について（回答）

平素は、執行部の行政運営に多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。  
令和 7 年 9 月 26 日付け宜議第 239 号にて提言のありました標記のことについて、下記のとおり回答いたします。

#### 記

#### 1. 普天間交差点における交通渋滞対策について

国道 330 号普天間交差点は、令和 6 年 12 月より普天満宮向けの車線運用の見直しが行われたが、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯など、以前よりも交通渋滞がひどくなっており、元の車線運用に戻すなど、市民から改善の要望も寄せられている。

南部国道事務所は、車線運用変更後に周辺の交通状況も併せて、交通量調査を行ったとのことであるが、調査結果を踏まえ、市としても状況把握に努め、早急に改善策を検討のうえ、国等関係機関に対し要請していただきたい。

#### 【 回 答 】

普天間交差点の車線運用見直しにつきましては、西普天間住宅地区における琉球大学医学部・大学病院の移転に伴う通学・通勤時間帯の渋滞対策として、国・県と連携して実施した経緯がございます。

琉球大学医学部が令和 7 年 4 月に開学したことから、南部国道事務所では同年 6 月に普天間交差点等の交通状況について調査を行っております。現在は、調査結果を踏まえ、今後の対策について国と協議を進めております。本市といたしましても、交差点周辺の状況把握に努めるとともに、対策の実施に向けて国をはじめ関係機関との協議調整を進めてまいります。

一方、中長期的な視点では、令和 7 年 7 月及び 11 月に普天間門前町や西普天間住宅地区など新たなまちづくりの価値向上、さらなる賑わいの創出を図るため

にも、国土交通省や内閣府に対して、普天間交差点の抜本的な改良について本市と一丸となって検討に取り組んでいただくよう要請を行っております。今後も引き続き、国土交通省や内閣府に対して要請を行ってまいります。

## 2. 小中学校体育館への空調設備の設置について

近年、地球温暖化の影響により猛暑が常態化し、特に熱がこもりやすい体育館での学校行事や体育活動などを行うことによる熱中症リスクが懸念されており、児童生徒の健康と安全確保のため小中学校体育館への冷房設置について、市民からの要望が寄せられている。

学校施設は、こどもたちの学習生活の場であり、災害時には指定避難所としても活用される場であるため、熱中症対策だけでなく避難所機能の強化、耐災害性の向上が期待できる。

以上により、小中学校体育館への早急な空調設備の設置を検討の上、環境整備を実施していただきたい。

### 【 回 答 】

学校施設は、子ども達の学習・生活の場であるとともに、災害時の指定避難所となっております。

市立小中学校体育館への空調設備の設置につきましては、熱中症対策や災害時の避難所機能の強化、耐災害性の向上につながることから、中学校の体育館・武道場への整備計画として令和8年度に設計を実施し、令和9年度からの工事着手に向けて取り組んでまいります。

また、小学校体育館につきましても、財源の確保や事業実施スケジュール等の検討について関係部署と連携し、早期の事業化に向けて引き続き取り組んでまいります。